

東中小学校だより

教育目標「明るくたくましい東中の子」

# 清流

ひ：光りかがやく子    な：仲良くする子  
が：がまん強い子    か：活発な子  
し：失敗をおそれない子

第6号 令和4年9月30日発行

校長 澤田 克之

## 優しさの練習

夏の暑さも終わり、ようやく過ごしやすい季節になりました。今年の夏は、天候不順の影響で大雨による災害が発生し、被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。また、感染症は未だ終息しておらず、まだまだ気を緩めることができない状況ですが、子供たちは毎日、元気に学校生活を送っています。10月の学芸会に向けての取組も最終段階を迎え、感動的で躍動する子供たちの姿を皆様にご覧いただければと願っています。

さて、「優しさの練習」という言葉を聞いたことはありますか？熊本県のご当地キャラである「くまモン」を開発した放送作家の小山薫堂さんの言葉です。こんなエピソードがあります。例えば運転のプロフェッショナルのタクシー運転手が、道を間違えたり遅くなったりしたら、客はイライラしたり腹を立てて怒ったりしてしまうのですが、そんな時、小山さんは、「しめた！やさしさの練習ができる！」と思うのだそうです。運転手さんはきっと間違えてしまって「失敗してしまった」と思っていますし、客の自分がそのイライラをぶつけてしまうと、きっと険悪な雰囲気になると思います。しかし、優しい言葉で対応することで、その運転手さんも気持ちが晴れて、次に乗せるお客さんにも優しく対応できるという、優しさのつながりというお話です。

今を生きる子供たちや私たち大人も、たくさんの人と関わり合いながら生活しています。更に言うと、人は決して一人だけの力では生きていけないものです。他の人と協力し助け合いながら、活動することがたくさんあると思います。しかし、時には自分の思い通りにならないことやイライラしてしまうこともあります。思いや感情を表すことは決して悪いことではありませんし、自分で考え判断し、行動することは大切な生きる力です。ただ、場面によっては自分の気持ちを抑えて、優しく接してあげることも、より良い人間関係を創っていく上で必要なことだと思います。

2学期は、たくさんの行事があり、子供たちが互いに協力して活動することが多い学期です。学校の楽しさの一つは、友だちと仲良く生活できる事だと私たちも考えております。子供たちが互いに優しい気持ちをもってより良い人間関係を創りながら学校が楽しくなるよう、職員一同、しっかり子供たちをサポートしていきます。今後とも本校の教育活動に対しまして、ご協力をお願いすることも多々あるかと思いますが、ご理解いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

## タイムトライアル

9月14日(水)・21日(水)にタイムトライアルを行いました。去年の記録などから今年目標タイムを設定し、トライアル1回目、2回目へと挑むマラソン記録会です。

練習期間にはグラウンドや体育館を走り、距離や時間を記録しました。登校してから朝の会までの間や休み時間などにも練習する姿が見られ素晴らしかったです。トライアルでは、低・中・高学年ごとに距離が設定され、それぞれが自分のめあて達成に向けて一生懸命にがんばりました。自分の目標を乗り越えることは大変なことですが、それぞれが粘り強く取り組む、よい機会となりました。

## 素敵な昼食！

14日(水)は「お弁当の日」でしたが、今回は住民会「若妻会」の皆さんが児童・教職員のために昼食を提供してくださいました。カレーライス・唐揚げ・フライドポテト・デザートなど子供たちが大好きなメニューです。

従来、東中祭典で行っていた子供向けの出店がコロナ禍で行えなかったため、企画してくださいました。ちょうどタイムトライアルの日でしたので、子供たちのモチベーションもUP！がんばった後においしくいただきました。心よりお礼申し上げます。



学芸会について 今年度も感染状況を鑑み、お客様を見守りながら家族の皆様のみとさせていただきます。ご理解と協力をお願いいたします。様子については次号でお伝えします。

### 10月(神無月)の主な行事予定

- 3日(月) 1年生4時間授業 学芸会実行委員会
- 4日(火) ALT3~6年
- 5日(水) なし日課4時間 南部地区研究大会
- 6日(木) ALT5・6年
- 7日(金) なし日課5時間 委員会
- 10日(月) **スポーツの日**
- 11日(火) ALT全学年
- 12日(水) なし日課5時間 総練習 お弁当の日
- 13日(木) ALT5・6年
- 14日(金) 学芸会実行委員会 前日準備
- 15日(土) 学芸会
- 17日(月) **振替休業日**
- 18日(火) 後片付け ALT5・6年
- 19日(水) 収穫祭計画①
- 20日(木) 収穫祭計画② ALT5・6年
- 21日(金) なし日課5時間
- 24日(月) 収穫祭計画③
- 25日(火) ALT3~6年
- 26日(水) 収穫祭計画④
- 27日(木) ALT5・6年
- 28日(金) 収穫祭
- 30日(日) なし日課5時間 町民コンサート お弁当の日



※裏面に前期学校評価の結果と後期の方針を掲載しましたのでご覧ください。

【分析】三者ともおおむね前向きに学ぶ姿勢があると捉えている。一方で家庭学習に対する取り組み方については児童と教職員・保護者の捉えに差が見える。			
A 前向きに学び続ける力	授業場面	<p>① 子どもは自ら課題を捉え、解決に向けて意欲的に取り組んでいるか</p> <p>教職員 20% 80%</p> <p>② お子さんは、意欲的に授業や行事に取り組んでいますか？</p> <p>保護者 43% 54% 4%</p> <p>③ 授業の始めでは何を学ぶか理解してから取り組んでいるか</p> <p>児童 52% 45% 3%</p>	<p>【現状と今後に向けて】 何を学ぶかを理解し、意欲的に授業に参加している様子が伺える。意欲化の向上に向けて教職員は「解決したい」と思わせる問いの吟味や指導計画の工夫改善を続けていくことが大切。</p> <p>【家庭の声】 飽きやすいので宿題などはほめて本人のやる気を引き出すようにしています。</p>
	家庭	<p>④ 子どもはやる気をもって課題や家庭学習に取り組んでいるか</p> <p>教職員 40% 40% 20%</p> <p>⑤ お子さんは自ら進んで家庭学習に取り組んでいますか？</p> <p>保護者 25% 50% 18% 7%</p> <p>⑥ 宿題や家庭学習に工夫して取り組んでいるか</p> <p>児童 62% 31% 3%</p>	<p>【現状と今後に向けて】 家庭学習に対する評価や励ましの取組は今後も継続する。発達の段階に応じた学習メニューの紹介や個々の力に応じたプリントの配付などで取り組みやすさや達成感を味わわせる。</p> <p>【家庭の声】 「意欲的に取り組んでいる」「頑張れば賞状をもらえたり褒められたりして自信につながっている」という回答の一方で「自分で学習内容を考えたり、根気強く取り組んだりすることが苦手」「難しい問題はすぐあきらめてしまう」との声も。</p>
B 失敗をおそれず自分なりの表現をつくりだす力	主に授業場面	<p>⑦ 子どもは根拠をもとに意見決定し、自分なりの考えを表現することができるか（授業での見通しや個人ワーク）</p> <p>教職員 10% 90%</p> <p>⑧ お子さんは自分の考えや意見を自信をもって伝えていますか？</p> <p>保護者 25% 54% 21%</p> <p>⑨ 予想を立てたり自力解決するとき、理由をつけてノートに考えを書いたり発表したりしているか</p> <p>児童 55% 41% 3%</p>	<p>【職員の声】 自信のなさから自分なりの表現を思いついても他の子の表現に合わせてしまうこともあった。自信をもって子どもにも声をかけ、認め、アドバイスすることが大切だと思う。自信をもって表現できる力を伸ばすために日々の授業を一層工夫して身に付けさせたい。</p> <p>【家庭の声】 授業中に手を挙げて発表することが苦手なようです。人前で意見を言うことは難しいことだと思いますが少数だからこそできることもあると思いますので発言する機会を工夫して増やしてほしいです。</p> <p>【授業場面における現状と今後に向けて】 授業の自力解決場面では自分なりの予想や解き方を決めて取り組んでいることが伺える。授業においては「発言=正解」ではなく「発言=課題解決のための材料」(みんなで出し合って解決する)という意識改革を行っている。</p>
	主に行事	<p>⑩ 子どもは自分の思いや練習の成果を自信をもって表現することができるか</p> <p>教職員 60% 30% 10%</p> <p>⑪ 自分の考えや練習したことを自信をもって表現することができるか</p> <p>児童 55% 38% 7%</p>	<p>【行事場面における家庭の声】 行事では出番が多く、助けてもらったり褒めてもらったりする中で自信を深めているようです。</p> <p>【現状と今後に向けて】 少数で認め合いながら生活する東中小ならではの良さを今後も大切にしていこう。</p>
	【分析】校内においては互いを尊重し合って生活している様子が伺える。挨拶も合格点！		
C 進んであいさつしよりよい人間関係を築く力	他者のよさを認める	<p>⑫ 子どもは互いのよさやがんばりを見つけ、高め合う姿が見られるか</p> <p>教職員 60% 40%</p> <p>⑬ お子さんは他人のよさや他の考えを素直に認めることができますか？</p> <p>保護者 21% 64% 14%</p> <p>⑭ 友達やよさやがんばりを認め、よりよいクラスにしようとしているか</p> <p>児童 59% 34% 7%</p>	<p>【職員の声】 互いの苦手なことも知り合っているため、小さな頑張りを見つけ声をかけている姿がとてよよいと思う。</p> <p>【保護者の声】 認められる部分もあるが、負けず嫌いな所が強くなると認められないことも……。</p>
	進んであいさつ	<p>⑮ 子どもはいつでも誰とでも心が通う挨拶をすることができているか</p> <p>教職員 40% 60%</p> <p>⑯ お子さんは、家族や地域の方に進んで挨拶をすることができますか？</p> <p>保護者 43% 54% 4%</p> <p>⑰ 誰にでも大きな声で自分から挨拶ができているか</p> <p>児童 43% 54% 4%</p>	<p>【現状と今後に向けて】 あいさつは昨年同様「できている」という答えが多い。校内での指導・家庭での声かけを継続していく。</p>
	【分析】授業では互いの意見をすり合わせやすい少人数学習の良さが生かされている。コロナ禍ではあるが地域や家庭の様々な声を聴いて考える場の設定が必要		
D 対話や体験を通して策を見出す力	主に授業場面	<p>⑱ 子どもは対話を通し、相違点や共通点、解決策を見つけ出すことができるか（集団思考）</p> <p>教職員 20% 80%</p> <p>⑲ 話し合うときは自分の考えと友達の考えの相違を意識したり、よりよい考えがないか話し合うことができるか</p> <p>児童 31% 59% 10%</p>	<p>【現状と今後に向けて】 複式学年では学習リーダーを中心とした話し合いの仕方がある程度身に付いていると考えられる。また、縦割り班活動や委員会活動などでは、班長や委員長を中心として議論する姿が見られる。今後は学校外の同年代の仲間と話し合う経験を積ませることが大切。</p>

# 前期学校評価のまとめ

D 対話や体験を通して策を見出す力	主に家庭	<p>⑩ 子どもは経験を生かしてよりよい策を考えることができるか</p> <p>教職員 20% 60% 20%</p> <p>⑪ お子さんはご家族と学習・生活のことや悩み事についてコミュニケーションをとることができていますか？</p> <p>保護者 36% 50% 14%</p> <p>⑫ いろいろな人から話を聞いたり体験したりすることで新たな発見やよいアイデアを考えることができますか？</p> <p>児童 20% 60% 20%</p>	<p>【保護者の声】 家族が揃う夜はなるべくリビングで過ごし会話やテレビなどで時間を共有するようにしています。親はコミュニケーションをとれているつもりですが、子どもはもっとりたいたいと思っているかもしれないので、子どもの時間を増やす努力が必要かと思えます。学校での様子を聞くときは答えやすいよう具体的に聞いています。</p> <p>【現状と今後に向けて】 「東中学習」や総合的な学習の時間で、多様な価値観に触れたり、みんなで話し合って妥協点を探したりする場の工夫が必要。</p>
	【分析】生活習慣・粘り強さ共に子どもと大人の間で認識のずれが見られる。		
E めあて達成に向けて粘り強く取り組む姿	生活習慣	<p>⑬ 子どもは基本的な生活習慣が身に付いているか</p> <p>教職員 30% 50% 20%</p> <p>⑭ お子さんは規則正しい生活を送っていますか？</p> <p>保護者 36% 43% 21%</p> <p>⑮ 規則正しい生活をし、自分のことは自分で行っているか</p> <p>児童 62% 31% 3%</p>	<p>【保護者の声】 時間のけじめの部分でいうと「今すべきこと」と「時間配分」のバランスが気になります。リズムある規則正しい生活を家族で心がけています。</p> <p>【現状と今後に向けて】 生活リズムチェックシートに加え、保健指導・学級指導を通し「睡眠時間の確保」「デジタルデトックス」「食育指導」を中心に啓蒙を図っていく。</p>
	粘り強さ	<p>⑯ 子どもはめあてに向かって行いや体力づくりに粘り強く取り組んでいるか</p> <p>教職員 40% 40% 10%</p> <p>⑰ お子さんは物事に粘り強く取り組むことができますか？</p> <p>保護者 29% 32% 36%</p> <p>⑱ めあてをクリアできるように粘り強く取り組んだか</p> <p>児童 69% 24% 3%</p>	<p>【現状と今後に向けて】 「粘り強さ」に対し否定的な回答が教職員20%保護者40%ある。簡単にあきらめないで取り組む力をどのように育てていくかの議論が必要。</p>
【分析】学校の取組については概ね高評価をいただいている。学習内容の理解度の捉えについては課題が見られる。			
学校に取り組むに対する設備	<p>【学校の取組】 ⑩ 学校は地域の方と連携したり地域のフィールドを生かした教育活動を行っていますか？</p> <p>保護者 64% 29% 7%</p> <p>⑪ 学校はお子さんの様子や出来事積極的に伝えていきますか？</p> <p>保護者 79% 18% 3%</p> <p>⑫ 学校は感染症対策やいじめ防止など学校生活に関わる危険管理に努めていますか？</p> <p>保護者 68% 32%</p> <p>⑬ お子さんは、学習した内容をよく理解し身に付いていますか？</p> <p>保護者 29% 54% 18%</p>		
【現状と今後に向けて】 前向きに学ぶことはできているが「よく理解できている」との回答が3割に留まる。学校はこれまでの取組を見直し、より「個に応じた指導の在り方を模索していく必要がある。			
<h2>学校評価から見える東中小学校の今</h2> <p>【後期の重点課題】</p> <p>A 前向きに学び続ける力→家庭学習へのサポート B 失敗をおそれず自分なりの表現を創り出す力→考えを出すことをためらわない E めあて達成に向けて粘り強く取り組む姿→粘り強さの向上</p>			
<h2>チームで取り組む改善・継続ポイント</h2> <p>①個に沿った学びの充実【A・B】 ②家庭学習の啓発【A】 ③成功体験をもたせる活動・行事【E】 ④挨拶の励行【C】 ⑤学校の危機管理体制の強化【デザイン外】</p>			

お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。今年度もグランドデザインのAとEそれぞれの力に対する評価を行っています。単純に数値化できるものではありませんが、傾向をご確認ください。右下に評価をうけて、後期学校が取り組む方向を記載しておりますのでご確認ください。